

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分		新規	整理番号	7	課題区分	C	令和7年(2025年)4月25日		
横断的な課題		2地域を支える産業のグレードアップ						上田地域振興局	
地域重点政策		2地域を支える産業のグレードアップ							
実施機関		上田地域振興局				担当課	所属		農業農村支援センター
事業名		ワイン用ぶどう生産支援事業					電話	0268-25-7127	
							E-mail	ueda-nogyo@pre.nagano.lg.jp	
事業の概要	目的 (目指す姿)	「世界基準を見据えたワイン産地」の早期実現に向け、農業分野から原料用ぶどうの品質や生産量の更なる向上を図るため、これに寄与できる栽培技術の普及・定着や栽培者間の情報交換を促進する。							
	現状と課題	【現状】 管内のワイン用ぶどう栽培面積(129ha)及びワイナリー(19施設)は順調に増加している(令和6年度)。また、県里親研修事業(令和5～6年度)を活用している就農希望者(現在研修生)が2名いるなど、今後も当管内での栽培面積及び生産量の拡大が見込まれる。 【課題】 栽培者は農業未経験者が多く、技術的に不安定で相互に情報交換する場も少ないことが課題となっている。また、収益性が低く1ha以上の栽培者で管理不足のほ場が多く見受けられる。ワイン産業を基幹産業とすべく、上田地域の重点施策「世界基準を見据えたワイン産地づくり」を推進するため、安定生産と高品質化への技術向上が欠かせない。更に、ゼロカーボン等環境に配慮した“環境負荷低減”技術導入への取組も栽培技術の一つとして推進する。							
	内容 (変更後の内容)	1 栽培技術の向上と交流促進 生産者の栽培技術向上や同業者との交流促進を図るため、ワイン用ぶどう栽培者を対象に、生産者技術セミナーを現地研修会として開催する。[7月～8月] 2 脱炭素社会に向けた取組を推進 ぶどう等剪定枝を炭化し、土壌貯留する取組の実演。土づくりや“炭素貯留”によるブランド化の有効性を検討する。[12月～2月]							
	事業期間	令和7年(2025年)7月 ～ 令和8年(2026年)2月							
事業費等	(単位:円)								
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考		
	生産者技術セミナー開催		現地研修会(新梢管理せん定及び病虫害防除対策)		30,000		報償費:13,000円、旅費:4,000円、使用料:13,000円カーコピー		
	ゼロカーボン意識の醸成		無煙炭化器の実演		8,000		報償費:7,000円、旅費:1,000円		
		合 計		38,000					
指標及び達成状況	成果指標				目標値		成果	達成状況	
	ワイン用ぶどう栽培面積(R6実績:129ha)				135ha			☐ 達成	
	ワイン用ぶどう収穫量(R6実績:310t)				340t			☒ 一部達成	
								☐ 未達成	
事業実績・成果									
今後の方向性									